



# 「磯焼け対策ガイドライン」の普及と実践

水産土木工学部

## 研究の背景・目的

水産生物を安定に継続して漁獲するには、藻場をはじめとする水産生物の生活基盤(住処、餌場、産卵場等)を良好な状態に保つ必要があります。しかし、近年、藻場が大規模に消失する「磯焼け」が発生し、我が国の水産業に多大な影響を及ぼしています。

水産庁や水産総合研究センターが中心となり、何が磯焼けの原因なのかを明らかにする方法や、どのようにして磯焼け対策に取り組めばよいかについて解説した「磯焼け対策ガイドライン」を平成19年2月にまとめました。現在、このガイドラインに基づく磯焼け対策の普及や実践を全国的に行っています。

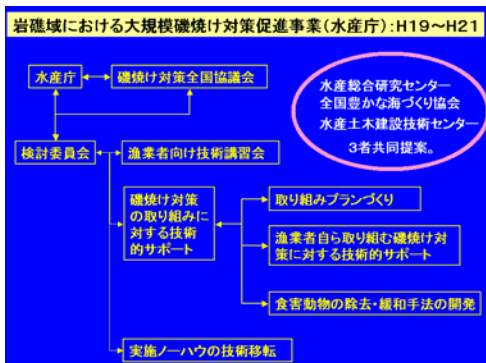
## 研究の成果

1. 磯焼け対策ガイドラインの内容について、漁業者の方々に理解頂くように、講習会を行っています。平成19年度は、20カ所の地域で実施しました。本年度も実施しています。
2. 漁業者が自ら実施する磯焼け対策に対して、技術的なサポートを実施します。現在、希望のあった10余りの地域で実施中です。
3. 磯焼けが継続する要因である植食動物(ウニ、アイゴ、巻き貝など)について、これらの効果的な除去方法に関する技術開発を行っています。

## 波及効果

持続的な磯焼け対策を実践するため、漁業者自身が取り組む磯焼け対策について、技術的サポートを行い、1つでも多くの成功事例をつくります。その際のノウハウは、磯焼け対策講習会や磯焼け対策全国協議会(水産庁)で公表します。

※ ご興味ある方は、遠慮無くお問い合わせください。



漁業者の方々への磯焼け対策ガイドライン講習会



熱心な聴講の一コマ



漁業者が、冬期にウニ除去を実施するためのドライスーツ潜水講習



海藻を魚の食害からまもる施設を製作する漁業者。



ウニ除去、フェンスの設置、その後のモニタリング。漁業者中心で実施。

(環境分析研究室・桑原久実)